

「ダビデの生涯から学ぶ」

はじめに

1. このテーマで説教を語る理由

- (1) コロナ入院、2 度の心筋梗塞治療、約 2 年弱の体調不良、そこからの復帰。
- (2) 沖縄のことを考えていると、ダビデの生涯が思い浮かんだ。
- (3) このメッセージは瞬時に与えられたが、作るのに 78 年かかったとも言える。

ダビデの生涯は、私たちの生涯の縮図である。

5 つのキーワードがそれを証明している。

I. 選び—神のご計画の始まり（ベツレヘム）

1. 神の選びは、人の基準とは異なる。

- (1) ダビデはエッサイの 8 人の息子の中の末っ子であった。
 - ①兄たちではなく、羊を守っていたダビデが選ばれた。

- (2) 最も可能性の低い者が選ばれた。

①1 サム 16：7

1Sa 16:7 【主】はサムエルに言われた。「彼の容貌や背の高さを見てはならない。わたしは彼を退けている。人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、【主】は心を見る。」

2. 神の選びは、不思議である。

- (1) 私たちは、天地が造られる前から救いに選ばれていた。

①エペ 1：4

Eph 1:4 すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方において私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。

- (2) 神は、この世の愚かな者、この世の弱い者を選ばれた。

①1 コリ 1：27

1Co 1:27 しかし神は、知恵ある者を恥じ入らせるために、この世の愚かな者を選び、強い者を恥じ入らせるために、この世の弱い者を選ばれました。

- (3) 聖書には、「救いの選び」が出てくるが、「滅びの選び」は出てこない。

- ①この礼拝の場にいることが、神から招かれていることの証拠である。
- ②福音の三要素を信じるなら、選ばれていたことが分かる。

II. 勝利—信仰による勝利（エラの谷）

1. 巨人ゴリアテとの戦いで、信仰による勝利を手にした。

(1) 戦場は、エルサレムから西に 30km のエラの谷。

①丘に囲まれた広い谷で、中央には小川（エラ川）が流れている。

(2) ダビデは使い慣れた武器を用いた。

①石投げ（スリング）と滑らかな石

(3) ダビデは、神の御名によって戦った。

①1 サム 17：45

1Sa 17:45 ダビデはペリシテ人に言った。「おまえは、剣と槍と投げ槍を持って私に向かって来るが、私は、おまえがそしたイスラエルの戦陣の神、万軍の【主】の御名によって、おまえに立ち向かう。

②神の権威と力に依り頼むこと

③神の栄光のために戦うこと

2. 私たちも、目の前の「巨人」に信仰で立ち向かうべきである。

(1) 3つの戦略

①使い慣れた武器を用いて

②神の御名によって

③神の栄光のために

III. 迫害—試練の中での忍耐（エン・ゲディ）

1. サウルは、執拗にダビデを迫害した。

(1) ダビデの人気の高まりと、サウルの嫉妬・恐れ

①人々は「サウルは千を打ち、ダビデは万を打った」と称賛した。

②サウルは激しく嫉妬し、次第にダビデの命を狙うようになった。

③ダビデは、エン・ゲディの野に身を隠した。

④サウルは、3,000 人の精鋭部隊を率いてダビデを追跡した。

(2) ダビデは、洞窟でサウルを討つ機会を得たが、手をかけることを拒否。

①サウルは「主に油注がれた王」である。

②神の時を待つ信仰

③復讐は神に委ねるという信仰

④ダビデの品性とリーダーシップ

2. 沖縄は、ゆえなく苦しめられてきた。

(1) 沖縄戦では、総計 20 万人の犠牲者が出た。

- ①住民の約 4 人に 1 人
- ②今も、基地負担を強いられている。

(2) 神様、なぜですか。

①今は分からないが、やがて分かるようになる。

②神の時を待つ信仰

③復讐は神に委ねるという信仰

④沖縄の品性とリーダーシップ

* 平和記念公園内にある「平和の礎（いしじ）」

* すべての戦没者の名前（約 14,000 名の米兵が刻銘されている）

(ILL) 傲慢が正された私の経験

IV. 失敗—罪と悔い改め（エルサレム）

1. ダビデは王としての責任を果たさず、罪に陥った。

(1) バテ・シェバ事件は、ダビデ王の最大の失敗とされる出来事である。

- ①ダビデは戦場に行かず、エルサレムにとどまっていた（2 サム 11：1）。
- ②宮殿の屋上から、入浴するバテ・シェバを見て魅了された。

* 清めの洗い、ウリヤの妻

- ③ダビデは、彼女を召し寄せ、関係を持った。
- ④バテ・シェバが妊娠すると、ダビデはウリヤを戦場から呼び戻した。
- ⑤ウリヤは、王への忠誠を理由に家に帰らなかった。
- ⑥ダビデは、將軍ヨアブに命じてウリヤを最前線に送り、戦死させた。

(2) 預言者ナタンがダビデを責めると、彼は悔い改めた。

①しかし、最初の子は死に、家族にも争いが起こるといふ悲劇が続いた。

②詩 51：17

Psa 51:17 神へのいけにえは 砕かれた霊。／打たれ 砕かれた心。／神よ あなたはそれを蔑まれません。

2. どんなに信仰深い者でも、油断すると罪に陥る。

(1) 神は、沖縄に悔い改めを迫っておられる。

①沖縄は、自らの詩篇 51 篇を作るべきである。

* 偶像礼拝の罪、姦淫の罪

- * 歴史的苦しみの中での神への不信の罪
- * 霊的な敗者であることに甘んじていた罪
- * 沖縄の霊的覚醒のために祈る。

V. 延期—神の計画に従う

1. 神殿建設を許されなかったダビデ

- (1) ダビデの願いは善であったが、神の計画は異なった。
 - ①息子のソロモンが神殿を建てる。
 - ②ダビデの使命は、そのための準備をすることであった。
- (2) 神は、ダビデにより良い約束を与えた（ダビデ契約）。
 - ①ダビデの家（王朝）が永遠に続く。
 - ②神がダビデの子（メシア）を堅く立てる。
 - ③ダビデの子孫からメシアが誕生する。
 - ④メシアは、全世界を治める王となる。

2. 私たちの願いも延期されることがある。

- (1) 日本に霊的覚醒が起こるように祈ってきた。
 - ①大きな変化は見えない。
 - ②次世代への引継ぎを迫られている。
- (2) 延期されているように見えても、神の計画は前進している。
 - ①神は、ダビデに「永遠の王国」の約束を啓示した。
 - ②この約束は、最終的に、イエス・キリストによって成就する。
 - ③今も、神の計画は前進している。
 - ④新天新地の約束を信じて、自分の役割を果たし、次世代に委ねるべきである。

結論：あなたに問いたい5つの質問

- 1. 神の選びにどう応えているか？
- 2. 目の前の戦いに信仰で立ち向かっているか？
- 3. 試練の中で神の時を待っているか？
- 4. 罪を悔い改め、神の赦しを受け入れているか？
- 5. 自分の願いが叶わない時に、神の御心を受け入れているか？